

The top consultants
of the first half of the year 2013

<再就職支援> 人材担当 新規求職者 決定率



マンパワーグループ株式会社
ライトマネジメント事業部 東京支店 キャリアコンサルタント

小林長廣

NAGAIHIRO KOBAYASHI

PROFILE
北海道出身。University of Southern California, International Relations (M.A., B.A)。1981年都市計画コンサルティング会社、外資系自動車会社、人事コンサルティング会社、再就職支援会社等を経て、現在、マンパワーグループ株式会社 ライトマネジメント事業本部 キャリアコンサルタント。



人脈や職歴を活かして、一桁より二桁と多くの仕掛けをできるようにしています。——小林

再就職支援の人材担当、求職者決定率ナンバーワンが小林氏だ。上半期の新規登録者は60名で、そのうち成約は28名（新規以外も含めると55名）。決定率は46・7%でトップとなった。

サービスだ。小林氏の担当分野は、キャリアカウンセリング、案件の紹介、再就職先の探し方、応募書類の書き方、面接の受け方の指導、再就職後のアフターケアなど、求職者のサポート全般だ。小林氏が担当する求職者は金融・情報・製造業出身者が多く、年齢は30代〜60代と幅広い。

「通常のエージェントは、企業からのオーダーに沿って人を探しますが、私たちは人からのオーダーに沿って企業を探します」と小林氏。企業の探し方には多くの方法があるが、エージェントもその一つ。その中からその人にあったエージェントを紹介する。一見簡単なようだが、業種、職種、

年代、国内系／外資系と多くの条件から適切な専門店を紹介するのは至難の業である。求職者が大企業出身の場合、就職活動をしたのは新卒のときだけという人が多い。横並びの企業内では、自分の年齢やキャリアなどの市場価値が分からずに、今の年収・仕事を参考に再就職できると思い

込んでいる方も少なくないと小林氏。市場性の低い職種の場合には、大胆なキャリアアチエンジも必要となる。「異業界への転職に成功する為のポイントには、丁寧なキャリアカウンセリングにより、自分の強みや志向性を深掘していく事にあります。先日決定した例で言うと、金融機関で



働いていた方が、今後は事業会社で働きたいと希望し、大手の製菓会社の海外支店管理の仕事に再就職なさいました。強みと志向性を両立した再就職でした」
中高年向けの求人案件は確かに少ない。だが、若い人には無い、年齢に相応しい人脈と職歴がある。
「再就職は狩猟だと思っています。獲物を通りそうな場所を見つけ出し、仕掛けを設置してジツとかかるのを待つイメージです。人脈や職歴を活かして、一桁より二桁と多くの仕掛けをするようにしています」
再就職支援業界でも、成約数を重視する傾向が出ているというが、入りやすい会社には押し込むように入社させることは絶対にしないという小林氏。人材ビジネスには通算20年、再就職支援には約15年関わっているというベテランは、今日も蓄積されたノウハウを發揮し続ける。

マンパワーグループ株式会社
ライトマネジメント事業本部
http://www.rightmanagement.jp
東京都千代田区西神田3-8-1
千代田ファーストビル東館5F
Tel.050-3163-5003

1994年、日本で初めて求人開拓とキャリアカウンセリング、セミナー（職業訓練）を組み合わせた日本型再就職支援サービスを提供開始したバイオニア。世界で既に実績のあったプロセスを日本の企業文化に合わせて提供し、これまで6万人以上の再就職を支援してきた実績がある。世界では、これまで52ヶ国で、300万人以上の方々の転職をサポートしてきた。